

地底の光

みずのほ

落ちて堕ちて陥って
暗く狭く閉ざされるようだった
そしてとうとうおしまいと
地の底に触れたとき愕いた
視界はひらけ明るさに包まれた
それでも懐く土壌があった
立たせてくれる地平があった

どれほどの血の染みか
どれほどの骨の埋まるか
あらゆる澱の降りつんだ地底に潜む光
光は光のみならず
光は光にとどまらず

「まだ来るなまだ生きろ」
巖然とあたたかく地上へと跳ね返す